

輸送路における環境調査結果① 騒音

地点			騒音[dB]		交通量[台]			
			事前調査	輸送時調査	事前調査	輸送時調査		
						うち大型車両	うち輸送車両	
環境基本法に基づく環境基準			70	70	—	—	—	—
騒音規制法に基づく要請限度			75	75	—	—	—	—
No.1	伊達市霊山町 山戸田	一般国道 115号	<u>71</u>	<u>71</u>	—	6,754	1,087	10
No.2	伊達市霊山町 石田	一般国道 115号	<u>72</u>	<u>72</u>	—	5,804	1,368	10
No.3	相馬市 東玉野	一般国道 115号	68	68	3,125	2,899	566	0
No.4	相馬市 山上遠藤	一般国道 115号	70	70	5,406	6,008	1,874	24
No.5	相馬郡飯館村 草野赤坂	県道 原町川俣線	70	69	6,996	6,892	1,370	6
No.6	南相馬市 鹿島区榎原	県道 原町川俣線	<u>72</u>	<u>73</u>	—	7,594	1,572	6
No.7	南相馬市 原町区大原	県道 原町川俣線	69	69	7,179	7,868	1,441	6
No.8	伊達郡川俣町 山木屋	一般国道 114号	67	67	3,360	3,979	847	4
No.9	双葉郡浪江町 高瀬	一般国道 6号	65	66	5,168	6,135	1,957	30
No.10	双葉郡富岡町 上手岡	県道 小野富岡線	65	66	—	3,652	1,166	20
No.11	双葉郡富岡町 上手岡	県道 いわき浪江線	67	66	3,381	5,074	859	16
No.12	双葉郡富岡町 上手岡	県道 小野富岡線	66	65	3,462	6,153	1,656	16
No.13	双葉郡富岡町 中央	一般国道 6号	63	66	9,973	9,213	3,553	40

※ 騒音、交通量とも昼間(6時~22時)の測定結果。事前調査は26年12月~27年6月の間に、輸送時調査は27年6月~12月の間に実施。

※ 騒音の値は等価騒音レベル(L_{Aeq})。

※ 下線は環境基準を超過したものを示す。

輸送路における騒音の測定結果

輸送路における環境調査結果② 振動

地点			振動[dB]		交通量[台]			
			事前調査	輸送時調査	事前調査	輸送時調査		
						うち大型車両		うち輸送車両
振動規制法に基づく要請限度			70	70	—	—	—	
No.3	相馬市 東玉野	一般国道 115号	36	38	2,700	2,554	504	0
No.4	相馬市 山上遠藤	一般国道 115号	41	42	4,830	5,335	1,767	24
No.5	相馬郡飯館村 草野赤坂	県道 原町川俣線	50	51	6,054	6,021	1,231	6
No.7	南相馬市 原町区大原	県道 原町川俣線	33	34	6,178	6,734	1,238	6
No.8	伊達郡川俣町 山木屋	一般国道 114号	44	50	2,869	3,399	784	4
No.9	双葉郡浪江町 高瀬	一般国道 6号	46	46	4,312	5,159	1,677	30
No.11	双葉郡富岡町 上手岡	県道 いわき浪江線	40	43	3,004	4,398	803	16
No.12	双葉郡富岡町 上手岡	県道 小野富岡線	32	34	3,138	5,562	1,593	16
No.13	双葉郡富岡町 中央	一般国道 6号	49	48	8,605	7,953	3,134	40

※振動、交通量とも昼間(7時~19時)の測定結果。事前調査は26年12月~27年6月の間に、輸送時調査は27年6月~12月の間に実施。

※振動の値は80%レンジ上端値(L₁₀)。

輸送路における振動の測定結果

輸送路における環境調査結果③ 大気質(二酸化窒素、浮遊粒子状物質)

地点			二酸化窒素[ppm]				交通量[台/日]				
			秋季	冬季	春季	夏季	事前調査 秋季	輸送時調査			
								秋期	うち大型車両 輸送車両 (最大日)		
環境基本法に基づく環境基準			0.06				—				
No.7	南相馬市 原町区大原	県道 原町川俣線	事前調査	0.007 (0.004~0.010)	0.007 (0.004~0.009)	0.006 (0.003~0.008)	0.004 (0.002~0.007)	7,529	8,340	1,545	12
			輸送時調査	0.007 (0.004~0.010)	0.009 (0.003~0.012)	—	—				

地点			浮遊粒子状物質[mg/m ³]				交通量[台/日]				
			秋季	冬季	春季	夏季	事前調査 秋季	輸送時調査			
								秋期	うち大型車両 輸送車両 (最大日)		
環境基本法に基づく環境基準			0.10				—				
No.7	南相馬市 原町区大原	県道 原町川俣線	事前調査	0.009 (0.005~0.017)	0.015 (0.002~0.032)	0.018 (0.008~0.028)	0.022 (0.011~0.029)	7,529	8,340	1,545	12
			輸送時調査	0.008 (0.004~0.011)	0.006 (0.004~0.016)	—	—				

※ 二酸化窒素、浮遊粒子状物質は7日間測定。事前調査は26年11月~27年8月の間に、輸送時調査は27年11月~28年1月の間に実施。

※ 二酸化窒素、浮遊粒子状物質の測定値は調査期間平均値、カッコ内は日平均値の最小値~最大値。

輸送路における大気質(二酸化窒素、浮遊粒子状物質)の測定結果

輸送路における環境調査結果④ 大気質(粉じん等)

地点			粉じん等[t/km ² /月]				交通量[台/日]				
			秋季	冬季	春季	夏季	事前調査	輸送時調査			
								秋季	うち大型車両	輸送車両 (最大日)	
(参考値)			(20)				—				
No.4	相馬市 山上遠藤	一般国道 115号	事前調査	3.6	8.6	1.5未満	2.4	5,555	6,204	1,919	8
			輸送時調査	5.1	6.1	—	—				
No.7	南相馬市 原町区大原	県道 原町川俣線	事前調査	3.2	4.4	2.1未満	2.3	7,529	8,340	1,545	16
			輸送時調査	3.8	3.0未満	—	—				
No.8	伊達郡川俣 町山木屋	一般国道 114号	事前調査	9.4	<u>33.1</u>	7.5	6.5	3,410	4,067	850	6
			輸送時調査	11.8	1.2未満	—	—				
No.9	双葉郡浪江 町高瀬	一般国道 6号	事前調査	1.4	6.7	2.1	1.5	6,032	7,069	2,537	43
			輸送時調査	3.9	5.7	—	—				

※ 粉じん等は15日間測定。事前調査は26年11月～27年8月の間に、輸送時調査は27年11月～28年1月の間に実施。

※ No.9の事前調査(秋季、冬季)は近傍の幾世橋で実施。

※ 下線は「道路環境影響評価の技術手法(国土技術政策総合研究所)」の参考値を超過したものを示す。

※ 事前調査の秋季と比べて、輸送時調査の秋季は降水量が多く、降雨により粉じん等が多く捕集された可能性がある。

輸送路における大気質(粉じん等)の測定結果

輸送路における環境調査結果(まとめ)

<評価>

- 騒音、振動について、事前調査と輸送時調査で測定結果に大きな差は見られなかった。
- 騒音については、事前調査の段階で既に環境基準を上回った地点があったが、交通量全体に占める輸送車両の割合は小さく、輸送による影響は小さいと評価される。振動は全ての地点で要請限度を下回った。
- 大気質について、二酸化窒素、浮遊粒子状物質は、事前調査と輸送時調査で測定結果に大きな差は見られず、全ての調査期間で環境基準を下回った。
- 粉じん等については、調査時期による変動が大きいが、輸送時調査では全ての地点で参考値を下回った。
- 今後も引き続きモニタリングを実施するとともに、制限速度の遵守、急発進及び急加速の抑制等により、輸送量の増加時にも騒音等の影響の低減に努める。